

## 子どもと大人が目線で取り組む 通学路危険箇所マップづくり

### 日頃からの入念な準備が 有事の被害を軽減

—滋賀学区自主防災会では、  
どのような団体ですか？

平成17年6月に設立した  
団体で、役員や防災士など3  
8名で構成されています。

滋賀県や大津市の防災研修  
会、防災士フォローアップ研  
修での情報収集やスキルアッ  
プ、地域の自主防災会別の訓  
練や運動会での防災をテーマ  
にした取組を行っています。

また、地域の防災倉庫の資  
機材の整備、備品の定期点検  
を行い、日頃から災害への備  
えを行っています。

### 子どもが安全について考え 自ら行動できるように

—防災の枠に  
とどまらず、子  
どもを守るため  
の取組も行って  
いるんですね。

自主防災会の  
メンバーや地域  
の子ども安全リ  
ーダー、学校や  
PTAなどとも  
連携を図り、子  
どもたちの安全  
に取り組んでい  
ます。

また、私たち  
は、子どもたち  
には自分自身の

安全について考え、行動するこ  
とが大切なことを知ってもらい  
たいと考えています。

そのため、滋賀学区防犯協会  
や滋賀学区青少年育成学区民会  
議などの団体とともに、子ども  
たちが楽しみながら、通学路上  
の危険箇所や「こども110ば  
んのおうち」の位置などを学び、  
危険に際してどう行動すればよ  
いかを考える、「通学路危険箇  
所マップづくり講座」を開催し  
ています。

「見守る立場」の目線だけで  
は気付きにくいことも、子ども  
たちと一緒に取り組むことで気  
づくことができるため、大変有  
意義な取組みとなっています。

令和4年11月27日（日）  
に開催した講座では、地元の皇



滋賀学区自主防災会

会長 大伴四郎左衛門

子山中学校の生徒さんもボラ  
ンティアとして協力してくださ  
り、地域一体となった取組にな  
りました。

【取材日：令和5年1月11日】



↑ 地域の子どもや保護者が参加した「通学路を歩こう！」の様子

